



## 株主メモ

|                                |                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券コード                          | 2488                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業年度                           | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                                                        |
| 定時株主総会<br>上記基準日                | 毎年6月<br>毎年3月31日<br>その他必要あるときは、あらかじめ公告して<br>臨時に基準日を定めます。                                                                                                                                                                  |
| 配当金受領株主確定日                     | 期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日(中間配当を行う場合)                                                                                                                                                                                    |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関<br>同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-232-7111 (通話料無料)<br>電子公告とし、次のホームページアドレスに<br>掲載します。(http://www.jtp.co.jp/) 但し、<br>事故その他やむを得ない事由により、電子公<br>告をすることができないときは、日本経済新<br>聞に掲載します。 |
| 公告方法                           |                                                                                                                                                                                                                          |

## (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**JTP 日本サード・パーティ株式会社**

〒108-6012 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟  
TEL.03-5782-7600 FAX.03-5479-4797 <http://www.jtp.co.jp/>

\*掲載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標です。\*不許複製、無断掲載。



IS 535133 / ISO 27001:2005



# 第22期 年次報告書

平成20年4月1日▶平成21年3月31日



日本サード・パーティ株式会社



# Message from Top Management



代表取締役社長

森 和昭

1987年当時、国内大手メーカーは技術サービス＆サポート部門の系列子会社化を図り、自社製品以外のサービスは行わないという差別化戦略がとられていたため、日本市場に進出する海外ハイテク企業は、自前のサービス体制を構築できなければ円滑に市場進出が果たせない状況にありました。当社は、その閉鎖的な日本市場の中で、「製品を売らず、作らず、売るのは技術サポートだけ」として、日本で初めて海外ハイテク企業の日本市場進出を支援するアウトソーサーとして、当時では常識はずれの企業として出発いたしました。以来、今日まで頑なに、IT業界で海外ハイテク企業のみを取引先とする、所謂「B－Bビジネス事業」を展開して参りました。

一方、ITバブルの崩壊によって、それまでの多種多様のハードウェア機器をシステム化することに重点をおいた大量生産・大量販売をビジネスモデルとした時代が終焉を迎え、今まで必要とされてきたシステム構築の際のソフトウェア開発やシステム不具合の発生に対処する保守業務が減少して参りました。しかしこのように時代が変化しているにも関わらず、日本のユーザーが負担するIT保守コストは、大量生産・大量消費の時代に作られた保守料金前払いの「保守契約制度」に縛られ、またシステム維持費の高止まりなどの放置によって、その金額が今や一兆円という金額に膨れ上がっているのが現状です。

当社は、「日本のITサービスの常識を打ち破りたい。」というキャッチフレーズで、このような旧態然としたままの異常な状態を早急に改善することで、IT保守コストの削減を図り、それを本来のIT投資に振り向けるべきだとするキャンペーンを実施しておりますが、このように次の時代へ移行するために取り掛かるべきことに対しては、積極的に提言を行っています。

さらに米国では、9.11事件を契機にして、特にIT社会の安全性維持が国家企業を守る最高の手段だとの考えが深まり、セキュリティに関する意識が、年々高まりを見せており、多くの新興企業が創出されています。しかし我が国ではサイバーテロなどに対する危機感が高いとはいえ、IT業界で働く100万人の技術者のありきたりの道徳心や倫理観に依存をした状況が続いているのが現状です。

そこで当社は、昨年度から我が国のIT社会で働く技術者を対象に、高いセキュリティ技術を有し、優れた道徳心と倫理観を持つエシカル・ハッカーとして育成することこそ、今後再び我が国が世界のICT（※）社会をリードするためにも必要な、重要な役割になるに違いないとの考えから、独自のセキュリティ教育システムを開発し、社会に問うことを始めました。

当社は、今後3年間でこのような新たな事業の柱を打ち立てるための施策を、今年度より実行して参りますので、何卒、株主各位を始め、取引先各社、社員各位のご理解をいただきたくお願い申し上げます。

平成21年6月

※Information and Communication Technologyの略語です。

# Future Challenges

今後の事業戦略

21世紀のIT業界は、20世紀のメール主導のモノづくりの時代から、システムを安全・効率的に運用するという運用管理の時代に完全にシフトしています。当社は、このような時代の変化をいち早く察知し、従来のハードウェアの保守・点検というアフターサービスの世界から脱却すべく、次の2つの事業を今後の柱として推進して参ります。

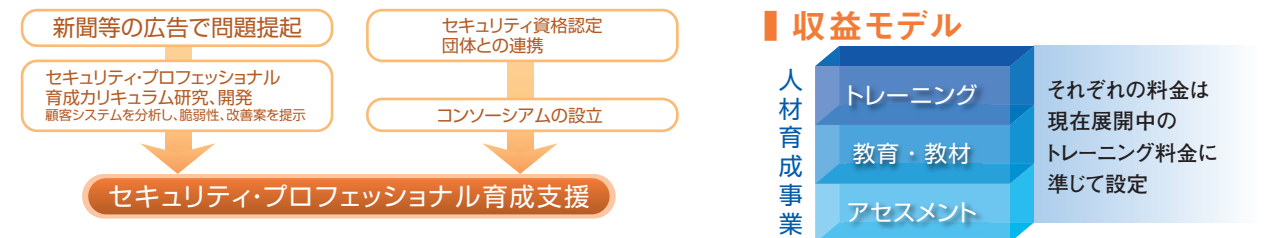
## 1 IT保守コスト外部監査＝20世紀のモノ造り時代の終焉コンサルティング事業＝

当社では、現在日本で総額1兆円にのぼるITの保守コストに注目しました。常態化している保守契約制度にメスを入れITコスト削減をすることが、日本の経済不況化におけるIT利用効率UPのためには必要不可欠であると確信しました。そして、平成21年3月より企業のITシステムの運用・管理コストの見直しをテーマとしてマスメディアを通じて啓蒙活動を開始いたしました。その反響は大きく、IT業界では話題となりました。世界的な大手コンサルティング会社数社と業務提携を行い、エンドユーザー向けに「IT保守コスト外部監査」事業を開始しました。

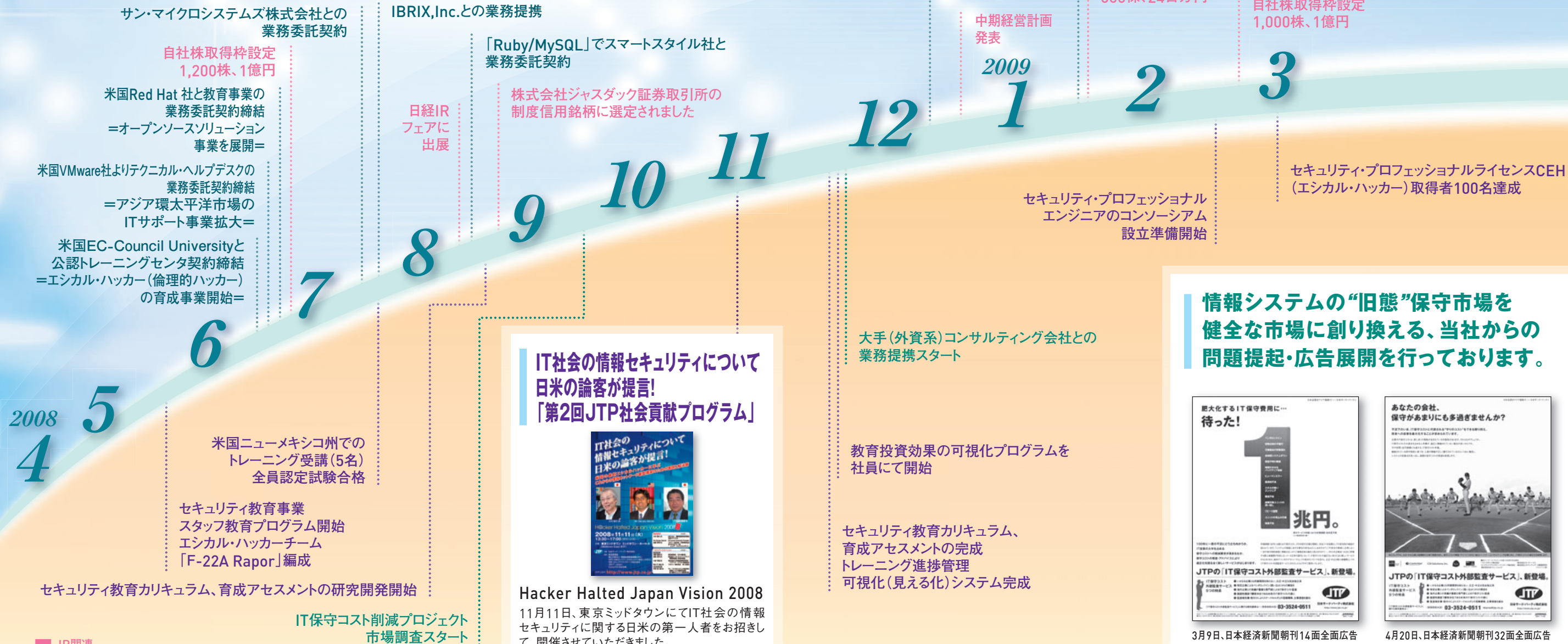


## 2 セキュリティ・プロフェッショナル育成＝21世紀のクラウド時代型人財育成事業＝

欧米に比較して、我が国のセキュリティシステムは脆弱です。情報漏洩、サイバーテロなどの防御に対して、ハードウェア・ソフトウェアによる物理セキュリティやISMS、Pマークといった制度にのみ依存をしています。欧米では、それらを破るのは全て「人」であるとの観点より、セキュリティの人材育成を重視しています。特に、エンジニアにはハッカー以上の技術力と高い道徳心・倫理観を兼ね備えた「セキュリティ・プロフェッショナル」の育成が進んでいます。我が国においても、そのエンジニア育成促進が急務であり、当社の社会的責務としてこの事業への取り組みを開始しました。



# 年間トピックス



情報システムの“旧態”保守市場を  
健全な市場に創り換える、当社からの  
問題提起・広告展開を行っております。



3月9日、日本経済新聞朝刊14面全面広告

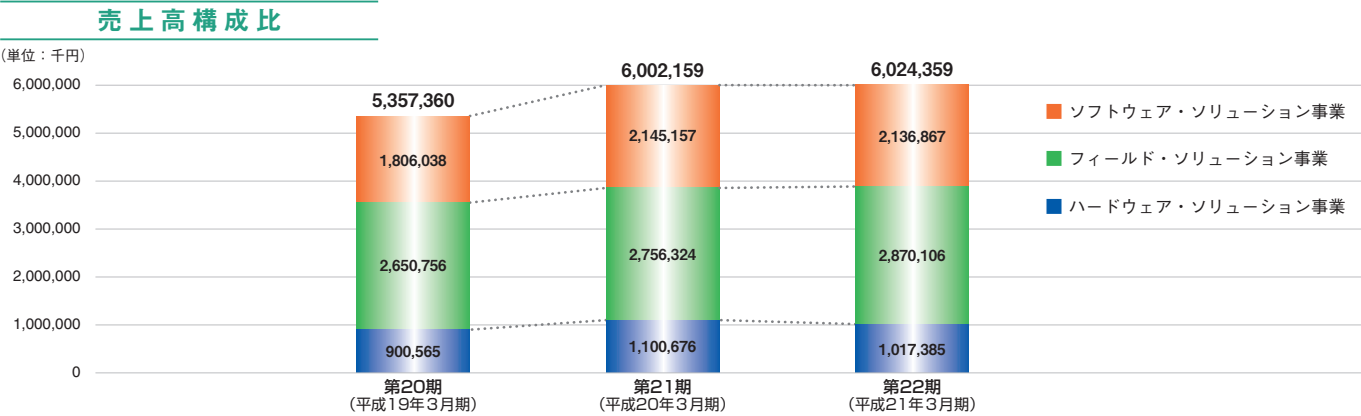


4月20日、日本経済新聞朝刊32面全面広告



経営成績

Business Performance



ソフトウェア・ソリューション事業

当事業部門では、海外ITベンダの抱える問題に対して、ビジネスプロセスの立案から実行までを行っており、日本で製品拡販のための海外で開発した技術マニュアル・教育テキストのローカライズや販売チャネル構築のためのマルチ技術対応技術者の育成トレーニング、アジア諸国に販売したソフトウェアの多言語（英語、中国語、韓国語）でのテクニカル・サポート、ソフトウェア導入におけるコンサルティング業務及び開発サポートを行っております。

教育部門においては、取引先の新入社員向け研修等の新規業務の受託及びトレーニングセンタの拡張による受講者数の増加を見込みましたが、顧客企業の経費削減にともない下期急速に受講者数が減少したことで、売上高は前事業年度比で減少いたしました。

ソフトウェア開発部門においては、半導体メーカへの新規システムの受注・納入と上期は順調な滑り出しでしたが、下期の半導体市場の急激な冷え込みから受注が減少するとともに新規システムの期末検収遅れにより、売上高は前事業年度比で減少いたしました。

ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、海外ベンダよりの業務受託拡大により、売上高は前事業年度比で増加いたしました。

この結果、当事業部門の売上高は21億36百万円（前事業年度比99.6％）となりました。

フィールド・ソリューション事業

当事業部門では、海外ITベンダの抱える問題に対して、ビジネスプロセスの立案から実行までを行っており、成熟期に入った製品のサービス品質やCSの向上のためのパフォーマンス戦略の立案から、少量多品種機器のサポート等のユーザからの多様化するニーズの対応、他社のサーバ、ストレージ等の製品を含めたシステム全体のサポートサービスを行っております。

コンピュータ・システムサポート部門においては、輸入専門商社からの営業サポート業務の受託、ITベンダのシステムの増設にともなうネットワーク工事の受託増加にともない、売上高は前事業年度比で増加いたしました。

IT応用システム・サポート部門においては、当初計画していた医療用機器の保守・設置等の受託業務が計画を下回ったため、売上高は前事業年度比で減少いたしました。

この結果、当事業部門の売上高は28億70百万円（同104.1％）となりました。

ハードウェア・ソリューション事業

当事業部門では、海外ITベンダの抱える問題に対して、ビジネスプロセスの立案から実行までを行っており、市場で発生した不良製品の不良原因の特定や検査工程の再構築による製品品質の向上サポートやユーザへ導入するシステムにおいて、他社製品を含めた稼動検証により安定稼動の提供を行っております。

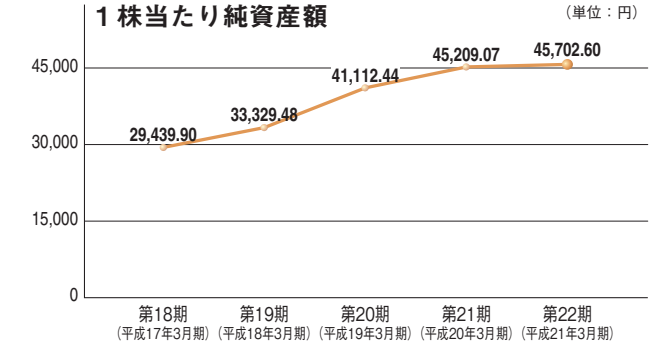
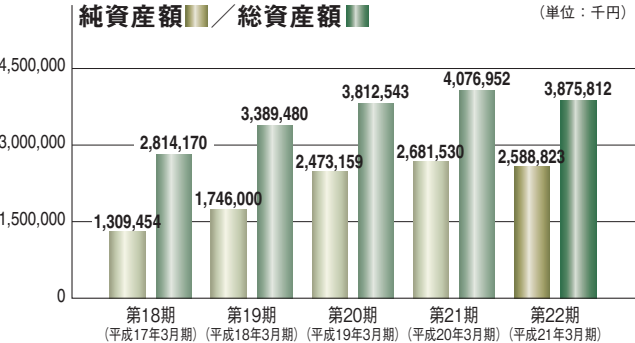
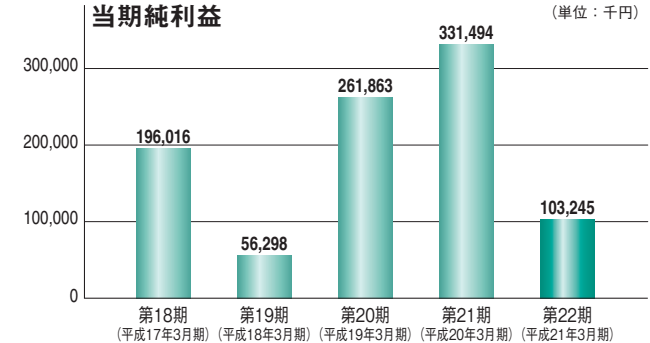
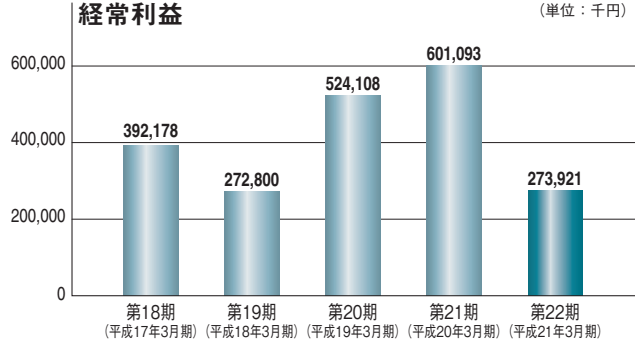
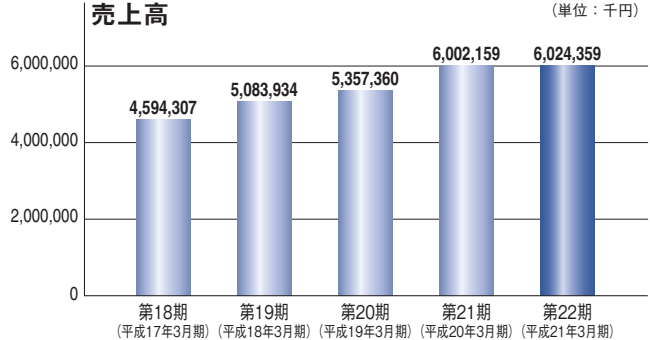
インテグレーション・サポート部門においては、下期の急速な景気後退により、当社が受託しているサーバの出荷量が減少したことで当社の受託量も減少し、売上高は前事業年度比で減少いたしました。

リペアセンタ部門においては、前事業年度に受託した輸入機器の検査業務の拡大により、上期の受託量は増加いたしました。入荷数量の落ち込みにとともに受託量も減少し、売上高は前事業年度比で横ばいとなりました。

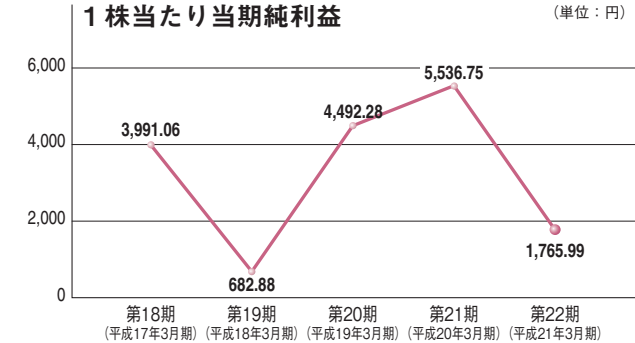
この結果、当事業部門の売上高は10億17百万円（同92.4％）となりました。

財務ハイライト

Financial Highlights



(注) 当社は、平成18年2月1日付で株式1株につき4株、平成19年8月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。



(注) 当社は、平成18年2月1日付で株式1株につき4株、平成19年8月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目          | 期 別 | 当 期（第22期）    | 前 期（第21期）    |
|--------------|-----|--------------|--------------|
|              |     | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| (資産の部)       |     |              |              |
| ■流動資産        |     | 3,097,227    | 3,295,590    |
| 現金及び預金       |     | 1,596,972    | 1,930,847    |
| 受取手形         |     | 1,125        | 1,593        |
| 売掛金          |     | 1,196,274    | 1,057,639    |
| 原材料          |     | 49,209       | 93,795       |
| 仕掛品          |     | 25,259       | 1,020        |
| 前払費用         |     | 48,920       | 53,305       |
| 繰延税金資産       |     | 119,466      | 110,661      |
| その他          |     | 60,208       | 50,643       |
| 貸倒引当金        |     | △209         | △3,917       |
| ■固定資産        |     | 778,584      | 781,362      |
| 有形固定資産       |     | 201,152      | 152,055      |
| 建物付属設備       |     | 120,056      | 128,299      |
| 車両運搬具        |     | 165          | 259          |
| 器具及び備品       |     | 80,930       | 23,497       |
| 無形固定資産       |     | 14,591       | 18,596       |
| ソフトウェア       |     | 6,007        | 10,012       |
| 電話加入権        |     | 8,584        | 8,584        |
| 投資その他の資産     |     | 562,840      | 610,709      |
| 投資有価証券       |     | －            | 54,000       |
| 関係会社株式       |     | 61,915       | 71,915       |
| 関係会社出資金      |     | 15,219       | 15,219       |
| 従業員に対する長期貸付金 |     | 579          | 352          |
| 関係会社長期貸付金    |     | 17,500       | 10,000       |
| 破産更生債権等      |     | 1,027        | 985          |
| 繰延税金資産       |     | 162,275      | 156,763      |
| 差入保証金        |     | 300,906      | 292,377      |
| その他          |     | 4,442        | 10,081       |
| 貸倒引当金        |     | △1,027       | △985         |
| ■資産合計        |     | 3,875,812    | 4,076,952    |

(単位：千円)

| 科 目      | 期 別 | 当 期（第22期）    | 前 期（第21期）    |
|----------|-----|--------------|--------------|
|          |     | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| (負債の部)   |     |              |              |
| ■流動負債    |     | 788,703      | 915,542      |
| 買掛金      |     | 214,778      | 250,468      |
| リース債務    |     | 5,638        | －            |
| 未払金      |     | 143,820      | 122,600      |
| 未払費用     |     | 89,485       | 72,998       |
| 未払法人税等   |     | 9,843        | 140,107      |
| 未払消費税等   |     | 29,989       | 43,366       |
| 前受金      |     | 43,124       | 59,335       |
| 預り金      |     | 14,842       | 15,585       |
| 賞与引当金    |     | 215,180      | 188,082      |
| 役員賞与引当金  |     | 22,000       | 23,000       |
| ■固定負債    |     | 498,285      | 479,878      |
| リース債務    |     | 4,392        | －            |
| 長期未払金    |     | 95,180       | 105,211      |
| 退職給付引当金  |     | 398,712      | 374,667      |
| ■負債合計    |     | 1,286,988    | 1,395,421    |
| (純資産の部)  |     |              |              |
| ■株主資本    |     | 2,588,823    | 2,681,530    |
| 資本金      |     | 795,475      | 795,475      |
| 資本剰余金    |     | 647,175      | 647,175      |
| 資本準備金    |     | 647,175      | 647,175      |
| 利益剰余金    |     | 1,309,062    | 1,291,822    |
| 利益準備金    |     | 9,926        | 9,926        |
| その他利益剰余金 |     | 1,299,136    | 1,281,896    |
| 別途積立金    |     | 490,000      | 490,000      |
| 繰越利益剰余金  |     | 809,136      | 791,896      |
| 自己株式     |     | △162,888     | △52,941      |
| ■純資産合計   |     | 2,588,823    | 2,681,530    |
| ■負債純資産合計 |     | 3,875,812    | 4,076,952    |

(注) 金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

| 科 目          | 期 別 | 当 期（第22期）                    | 前 期（第21期）                    |
|--------------|-----|------------------------------|------------------------------|
|              |     | 自 平成20年4月 1日<br>至 平成21年3月31日 | 自 平成19年4月 1日<br>至 平成20年3月31日 |
| ■売上高         |     | 6,024,359                    | 6,002,159                    |
| 売上原価         |     | 5,066,931                    | 4,664,642                    |
| ■売上総利益       |     | 957,428                      | 1,337,516                    |
| 販売費及び一般管理費   |     | 691,954                      | 620,686                      |
| ■営業利益        |     | 265,473                      | 716,830                      |
| 営業外収益        |     | 13,410                       | 24,238                       |
| 営業外費用        |     | 4,962                        | 139,975                      |
| ■経常利益        |     | 273,921                      | 601,093                      |
| 特別損失         |     | 64,000                       | －                            |
| ■税引前当期純利益    |     | 209,921                      | 601,093                      |
| 法人税、住民税及び事業税 |     | 120,994                      | 271,162                      |
| 法人税等調整額      |     | △14,318                      | △1,563                       |
| ■当期純利益       |     | 103,245                      | 331,494                      |

(注) 金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科 目                  | 期 別 | 当 期（第22期）                    | 前 期（第21期）                    |
|----------------------|-----|------------------------------|------------------------------|
|                      |     | 自 平成20年4月 1日<br>至 平成21年3月31日 | 自 平成19年4月 1日<br>至 平成20年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     |     |                              |                              |
|                      |     | △16,741                      | 475,646                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     |     |                              |                              |
|                      |     | △114,265                     | △116,998                     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     |     |                              |                              |
|                      |     | △194,993                     | △122,632                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     |     |                              |                              |
|                      |     | △8,785                       | △91,714                      |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) |     |                              |                              |
|                      |     | △334,786                     | 144,300                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高       |     |                              |                              |
|                      |     | 1,930,356                    | 1,786,055                    |
| 現金及び現金同等物の期末残高       |     |                              |                              |
|                      |     | 1,595,570                    | 1,930,356                    |

(注) 金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当期（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

(単位：千円)

|                             | 株 主 資 本 |         |         |       |          |         |           |          |           | 純資産合計     |
|-----------------------------|---------|---------|---------|-------|----------|---------|-----------|----------|-----------|-----------|
|                             | 資 本 金   | 資本剰余金   |         | 利益剰余金 |          |         | 自己株式      | 株主資本合計   |           |           |
|                             |         | 資本準備金   | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 |         |           |          | 利益剰余金合計   |           |
|                             |         |         |         |       | 別途積立金    | 繰越利益剰余金 |           |          |           |           |
| ■平成20年3月31日残高               | 795,475 | 647,175 | 647,175 | 9,926 | 490,000  | 791,896 | 1,291,822 | △52,941  | 2,681,530 | 2,681,530 |
| ■事業年度中の変動額                  |         |         |         |       |          |         |           |          |           |           |
| 剰余金の配当                      | -       | -       | -       | -     | -        | △86,005 | △86,005   | -        | △86,005   | △86,005   |
| 当期純利益                       | -       | -       | -       | -     | -        | 103,245 | 103,245   | -        | 103,245   | 103,245   |
| 自己株式の取得                     | -       | -       | -       | -     | -        | -       | -         | △109,947 | △109,947  | △109,947  |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） | -       | -       | -       | -     | -        | -       | -         | -        | -         | -         |
| ■事業年度中の変動額合計                | -       | -       | -       | -     | -        | 17,239  | 17,239    | △109,947 | △92,707   | △92,707   |
| ■平成21年3月31日残高               | 795,475 | 647,175 | 647,175 | 9,926 | 490,000  | 809,136 | 1,309,062 | △162,888 | 2,588,823 | 2,588,823 |

(注) 金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## Forecasts for the Fiscal year

次期の見通し

当社の平成22年3月期の業績予想は以下の通りであります。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

|           | 売上高   |     | 営業利益 |       | 経常利益 |      | 当期純利益 |       | 1株当たり当期純利益 |    |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|-------|------------|----|
|           | 百万円   | %   | 百万円  | %     | 百万円  | %    | 百万円   | %     | 円          | 銭  |
| 第2四半期累計期間 | 3,100 | 6.1 | 150  | 116.7 | 150  | 24.4 | 80    | 122.1 | 1,329      | 88 |
| 通期        | 6,400 | 6.2 | 530  | 99.6  | 530  | 93.5 | 290   | 180.9 | 4,820      | 80 |

事業部別の事業展開の見通しにつきましては、以下の通りであります。

### ■ ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門においては、今期より開始いたしました新規受託業務はスタッフのサポート体制が整い、本格的に稼働いたします。また、今期開発した新規の教育プログラムの受注、今期に人材投入したセキュリティ教育事業の立ち上げを計画しており、次期の売上高は今期の39%増を見込んでおります。

ソフトウェア開発部門においては、半導体市場の急速な落ち込みが従来の受託量の減少、業務委託料の値引きが見込まれており、次期の売上高は、今期の33%減を見込んでおります。

ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、海外ICTベンダのアジアにおけるテクニカル・サポートを中心に業務を行っておりますが、事業拡大を目指し、当社が取引している他の海外ICTベンダのヘルプデスク業務への横展開を行っていく予定であります。またこのヘルプデスク業務につきましては、災害時のバックアップシステム機能を充実させることを目的に、東京・大阪の二極体制を開始いたしております。このような施策の実施により、次期の売上高は、今期の22%増を見込んでおります。

### ■ フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門においては、当社の総売上高の約35%を占める部門であります。今後、保守業務受託量の減少が予想される中で、今期から独立した事業戦略本部においてコンサルティング業務やネットワーク構築業務の新規受託の推進により、次期の売上高は、今期の4%増を見込んでおります。

IT応用システム・サポート部門においては、医療関連機器や分析機器などの特殊で少量のサポート業務は、景気の好不況に左右されないことが強みであります。今期解除した医療機器のサポート業務の減少が影響し、次期の売上高は、今期の22%減を見込んでおります。

### ■ ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、アウトソーシングを委託されている顧客からの受託量の回復が来期以降になることが予測されるため、次期の売上高は、今期の10%減を見込んでおります。

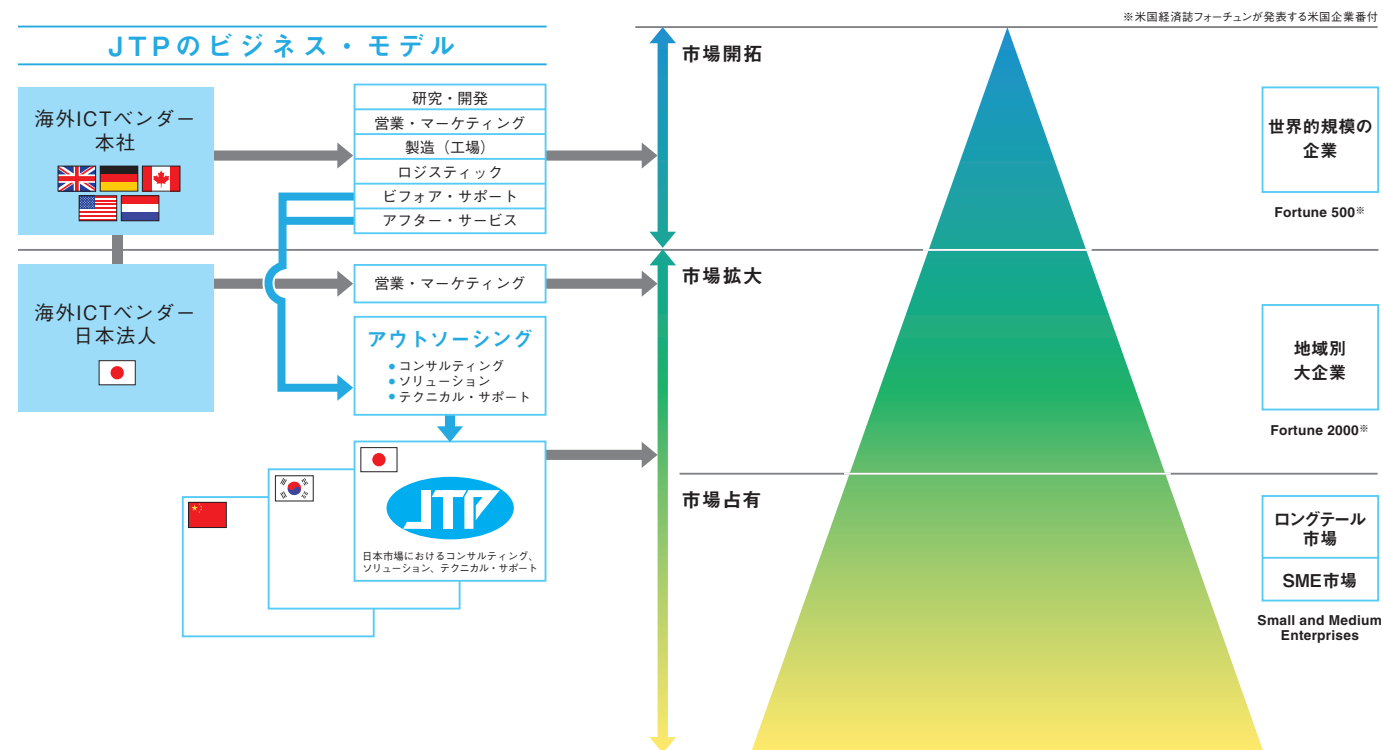
リペアセンタ部門においては、今期から受託した業務が今後3年間継続されることが決定しており、また新規の検査業務の取り込みを予定していることから、次期の売上高は、今期の24%増を見込んでおります。

## Business Model

事業内容

### 海外ICTベンダの日本アジア市場向けコンサルティング、ソリューション、テクニカル・サポート事業の戦略的アウトソーシング・パートナー

JTPは世界のICTトップ企業、ベンチャー企業の日本及びアジア・パシフィック地域における現地法人のコンサルティング、ソリューション、テクニカル・サポート事業のアウトソーサーです。営業部門のプリセールスから販売後のアフター・サービスまでを支える戦略的アウトソーシング・パートナーとして、本社技術部門の役割を担っています。



## 事業の変化に迅速に対応できるビジネス・モデル「SMS戦略」

海外ITベンダが日本及びアジア・パシフィック市場で事業を推進する場合、「市場参入」(Sunrise)、「製品の成熟」(Midday)、「市場からの撤退」(Sunset)という3段階のビジネス・ライフ・サイクルが想定されます。しかし今や、海外ICTベンダのビジネスは「市場参入」(Sunrise)、「製品の成熟」(Midday)という状態から、すでに「市場からの撤退」(Sunset)局面に突入しております。当社では、この変化をいち早く察知し、海外コンサルティング会社との協業を通じ、サンセットビジネスの事業化を加速させております。

### SMS戦略

## ビジネス・ライフ・サイクル

日本市場参入

サンライズ  
Sunrise

市場への参入期において  
プリセールス支援戦略、  
オペレーション戦略を  
立案し、レバレッジ・  
ソリューションとして  
実行

ミッドディ  
Midday

成熟した事業の効率化、  
CS向上、収益向上のた  
めのパフォーマンス戦  
略を立案し、ビジネス・  
プロセス改革ソリュー  
ションとして実行

サンセット  
Sunset

事業の終息、再構築、  
日本市場撤退時における  
リストラクチャリング  
戦略を立案し、リイン  
キューベーション・ソ  
リューションとして実行

新たなサンライズ  
Sunrise

再構築による新市場展開

日本市場撤退

## 世界に通じるサービス品質と人財による「マスカット戦略」

「マスカット戦略」とは一粒でも存在感を持ち得る「志」と「戦力」を持った「人財」の育成と、粒の連なる「房」＝「組織力」を高める当社の経営の基本戦略をいいます。高品質なサービス提供を可能とするため、JTPでは個人のスキルをスコア化・可視化する仕組みL×e<sup>2</sup>（エル・バイ・イーツー）を有し、組織レベルでは国際標準規格ISOとISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）並びにPマーク（プライバシーマーク）の認証取得によって、サービス品質を保証する体制を整えております。当社では、昨年4月よりセキュリティ・プロフェッショナルライセンス（CEH）の取得（平成21年5月末現在109名取得済）を開始し、ハードウェアからソフトウェアへの質的変換をはかっております。また、コールセンター・テクニカルヘルプデスク事業を主流とする、知識・情報提供型のサービスの時代を迎え、当社では少量多品種サービスに通用する「マルチ技術力」を持つエンジニアがサービスの先頭に立って活躍しております。

### 個人として

| ベンダ名                         | ライセンス名                                                                                            |                        |                           |                      |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------|----------------------|
| Sun Microsystems             | SCSA<br>SCNA<br>SCSecA                                                                            | SISC<br>SCFE<br>SJC-P  | SJC-D<br>SJC-Wc<br>SJD-EA | SJD-BC<br>Star Suite |
| Hewlett-Packard              | HP-UX                                                                                             | HP-HA                  | CSA-HP-UX                 |                      |
| Cisco Systems                | CCNA<br>CCDA                                                                                      | CCNP<br>CCIP           | CCIE<br>CSE               | WLAN<br>CCSP         |
| Linux Professional Institute | LPIC Level1<br>LPIC Level3-core                                                                   |                        | LPIC Level2               |                      |
| Oracle                       | Silver<br>Gold                                                                                    | Platinum               |                           |                      |
| Microsoft                    | MCP<br>MCSA                                                                                       | MCSE<br>MCDST          | MCDBA                     |                      |
| Symantec (VERITAS)           | SFS<br>DPA-X<br>DPA-W                                                                             | BUES<br>DPS-X<br>DPS-W | HAS-X<br>HAS-W            |                      |
| EMC                          | Associate Level<br>Specialist Level                                                               |                        |                           |                      |
| XML                          | XML Master Basic                                                                                  |                        |                           |                      |
| OMG                          | UML Professional<br>Fundamental                                                                   |                        |                           |                      |
| CheckPoint                   | CCSA                                                                                              |                        |                           |                      |
| IBM                          | SCS                                                                                               | SCSA                   |                           |                      |
| Comp TIA                     | A+                                                                                                | NETWORK+               | Security+                 |                      |
| Brocade                      | CFP                                                                                               |                        |                           |                      |
| SAP                          | ABAP                                                                                              |                        |                           |                      |
| Turbolinux                   | Turbolinux                                                                                        |                        |                           |                      |
| OGC                          | ITIL-F                                                                                            | ITIL-M                 |                           |                      |
| EC-Council                   | CEH                                                                                               | CEFI                   | ECSA                      |                      |
| (ISC) 2                      | CISSP                                                                                             | CIW                    |                           |                      |
| SANS                         | GIACs                                                                                             | GSEC                   |                           |                      |
| ISACA                        | CISA                                                                                              | SISM                   |                           |                      |
| Red Hat                      | RHCT<br>RHCA                                                                                      | RHCE<br>RHCSS          |                           |                      |
| MySQL                        | CMDEV                                                                                             | CMDBA                  | CMCDBA                    |                      |
| VMWare                       | VCP                                                                                               |                        |                           |                      |
| Help Desk Institute (HDI)    | Qualified Help Desk Analyst<br>HDI-Help Desk Analyst Qualification<br>Qualified Help Desk Manager |                        |                           |                      |
| NetApp                       | Accredited Storage Architect Professional                                                         |                        |                           |                      |
| Ruby Association             | Ruby Association Certified Ruby Programmer Silver                                                 |                        |                           |                      |

国際基準のサポート

多言語を  
駆使する  
マルチリンガル  
エンジニア

### 個人として

国際社会で活躍するJTPの技術者は、公用語としての英語力を当然のごとく有しています。商談、システム設計、トレーニング、テクニカルトランスファー、プレゼンテーション、そしてアジア・パシフィック地域における事業展開においては、英語、中国語（北京語、広東語）、韓国語を駆使します。そのために、JTPは全社員にマルチリンガルエンジニアとしての能力向上のための環境整備を促進しております。

### 事業部門として

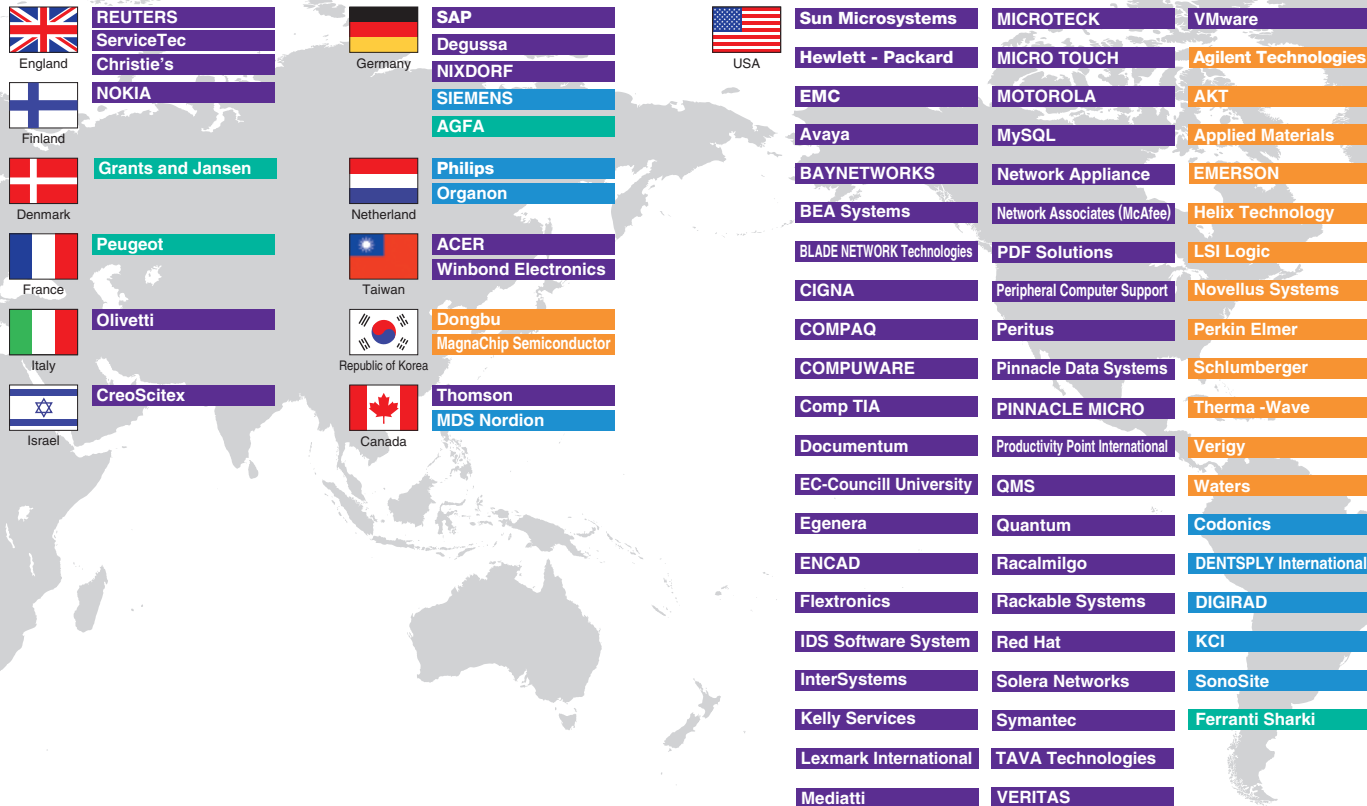
教育部門…………… JQA-2598 ISO9001：2000  
IT応用システム・サポート部門… JQA-QM5320 ISO9001：2000  
コンピュータ・システムサポート …… JQA-QM6085 ISO9001：2000  
インテグレーション・サポート …… JQA-QM6413 ISO9001：2000  
コンピュータ・システムサポート（周辺機器） JQA-QM8338 ISO9001：2000  
ロジスティクス事業部 医療業務 …… 81 105 084973 (TUV) ISO13485:2003  
ソリューション サポート事業本部 …… IS535133 ISO27001：2005  
プライバシーマーク……………10822961 (01) JISQ15001：2006準拠

ISOとISMSと  
Pマークの認証取得



JTPの優位性 2  
JTP's Advantage 2

ニッチな知識の蓄積で世界のトップ企業と20年以上にわたり戦略的パートナーとしての信頼を構築



会社概要  
Corporate Data (平成21年3月31日現在)

会社概要

設立 昭和62年10月31日 (1987年)  
資本金 795,475,000円  
従業員数 544名

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 森 和昭  
取締役 高島 隆明  
取締役 岡田 弘志  
取締役 佐伯 康雄  
取締役 古川 宏幸  
取締役 (社外) 末次 朝彦  
常勤監査役 金田 欽也  
監査役 (社外) 竹内 定夫  
監査役 (社外) 野々宮 恵司

子会社

株式会社 ジェー・ティ・ピー・プラザ  
I T P セールズ株式会社  
データ・エントリー・ソリューション株式会社  
匯信通信息产业有限公司  
上海薩德帕迪信息技术有限公司  
韓国サード・パーティ株式会社  
Japan Third Party of Americas, Inc.

株式の状況  
Stock Information (平成21年3月31日現在)

株式の概要

発行可能株式総数 207,000株  
発行済株式の総数 60,156株  
株主数 921名

大株主

| 株主名                  | 持株数 (株) | 出資比率 (%) |
|----------------------|---------|----------|
| 森 和昭                 | 26,418  | 46.63    |
| 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社   | 6,600   | 11.65    |
| JTP従業員持株会            | 2,509   | 4.42     |
| 今年明                  | 2,020   | 3.56     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行        | 1,440   | 2.54     |
| フューチャーアーキテクト株式会社     | 1,200   | 2.11     |
| 佐伯 康雄                | 657     | 1.15     |
| 岡本 勲                 | 648     | 1.14     |
| サン・マイクロシステムズ株式会社     | 600     | 1.05     |
| 日本ビューレット・バickard株式会社 | 600     | 1.05     |
| シーティーシー・テクノロジー株式会社   | 600     | 1.05     |

(注) 出資比率は、自己株式 (3,511株) を控除して計算しております。

株式分布状況

